

教養セミナーⅡ〈PS〉

◇履修方法

教養セミナーⅡは、Ⅱ期に1テーマを選択し履修する。

I 一般学習目標

少人数による教育を通じて、教員および参加者相互でテーマをめぐって discussion しながら双方向的学習をすることにより、自主的学習態度を身につける。

II 個別学習目標

テーマごとに提示する。

III 教育内容

テーマ及び担当者：次頁の表のとおり

IV 学習及び教育方法

セミナー：自主的かつ双方向的に学ぶ。

V 評価の方法

出席を重視し、参加態度、理解度、発表内容、発表能力等を総合的に評価する。

VI 推薦する参考書

テーマごとに提示する。

Ⅱ期開講教養セミナー 一覧

	テーマ	担当教員	開講予定時限
人文社会	医療倫理事例研究入門 アスリートと医療 心理アセスメント入門	竹山 重光 本郷 正武 石井 拓	金曜・1限目 火曜・1限目 金曜・1限目
自然科学	やりなおし数学・統計 X線の物理 遺伝子操作の光と陰 疑似科学を考える データマイニング入門 生物有機化学演習	武田 好史 牧野 誠司 平井 秀一 藤村 寿子 田中 晴喜 多中 良栄	火曜・1限目 火曜・1限目 金曜・1限目 金曜・1限目 金曜・1限目 火曜・1限目

配当学年：平成30年度入学生（1年次生）

医療倫理事例研究入門（竹山 重光）

人間のからだという多様な連関を有するものを介して、道徳的倫理的な諸問題が湧出してくる場、その一つが医学医療である（もう一つは性の場面であろう）。ビデオやDVDなどを用いてそのような場の事例を検討する。参加者それぞれに対して、みずからの論点を意識し、言語化し、丁寧に表明することが、そして、他のメンバーの表明に傾聴し、受け止めることが求められる。積極的な参加が不可欠である。

アスリートと医療（本郷 正武）

アスリートが最高のパフォーマンスをするため、あるいは障害や疾病を克服してアスリート人生を全うするために、近代医療は欠かせないツールとなっている。しかし時にはドーピングなどのようなかたちで、近代医療がスポーツの存在意義を掘り崩す事例もある。本セミナーでは、特定のアスリート、もしくは特定競技のアスリートたちが、どのような医療の助けを得て競技を継続・展開していったのかについて、個別報告により検討する。受講希望者は、あらかじめ検討したいアスリートの候補を考えておくこと。

心理アセスメント入門（石井 拓）

アセスメントは、患者やクライアントにとって何が問題なのかを特定したり、治療や介入の効果を測ったりするために必要です。特に、患者やクライアントを受け入れる際には、その人を多面的に知るために、精神症状、人格と知的能力、身体症状、心理的・社会的ストレス、生活適応度などについてのアセスメントが必要で、これらのアセスメントに精通することで人をみる目を養えます。このセミナーでは、さまざまなアセスメントについて調べたり実体験したりすることを通して、それぞれの利点や限界について学びます。

やりなおし数学・統計（武田 好史）

このセミナーでは、人に説明するための準備や人の説明を批判的に聞くという、おそらくこれまであまり経験がなかった学習法により、大学の数学や統計学への再挑戦を試みてもらう、またその中で、プレゼンテーション技術の向上を目指してもらう。

具体的には、数学あるいは統計に関するテーマおよびテキストを定め、受講者の中から順に毎回一名が講師として、“事前に十分に”予習準備して来た上で、他の受講者に対して内容を“わかりやすく”講義してもらう。他の受講者は“講師”の説明のわかりにくいところやプレゼンテーションとして適切でないところなどを指摘していってもらう。

X線の物理（牧野 誠司）

医療の現場などで用いられているX線について学ぶ。まず、放射線全般について学習し（放射線の発生や物質との相互作用、放射線検出器、放射線の人体への影響など）、次に、X線の発生や検出、医療への応用について学ぶ。また、半導体X線検出器、X線発生装置、X線CCDカメラなどを用いた実験を行い、X線の性質について理解を深める。

遺伝子操作の光と陰（平井 秀一）

今や遺伝子操作技術は医学生物学研究を行う上で欠くことのできないものとなっている。この技術は生命現象に関する様々な謎の解明に貢献して来たと共に、疾病の診断や治療、食料生産等の分野に革新をもたらしつつある。しかし遺伝子操作技術の利用は、倫理面の他、安全面においても様々な問題をはらんでいる。このセミナーは遺伝子操作に対する理解を深めることを目的とするもので、遺伝子操作技術の一部を体験すると共に、遺伝子操作技術がどのような形で研究や医療に利用されているかを調査し、その功罪について討議する。

疑似科学を考える（藤村 寿子）

疑似科学とは「ニセ科学」や「似非（エセ）科学」などとも呼ばれ、科学を装いながら実際には科学的根拠が無い、または弱い言説のことをいう。「水からの伝言」や「マイナスイオン」、「ホメオパシー」、「血液型性格判断」など例を挙げると切りが無く、世の中にはこのような考えや製品が広く普及し、時には社会に悪影響を及ぼす。このセミナーでは、疑似科学といわれている言説を批判的に捉えることを通して、科学的とはどういうことかを考えていく。

データマイニング入門（田中 晴喜）

大量のデータをマイニング（採掘）し、意味のある情報を見つけ出す手法は、ビッグデータ時代には欠かせないものとなっている。このセミナーでは、書籍、雑誌、インターネット上にあふれる情報を適切な統計処理ソフトを用いて調べることにより、新しい知見を見つけるデータマイニングを体験してもらう。ここで用いられる統計ソフトの使用方法やデータ分析の手法は、将来の臨床データ分析にも役立つ。セミナーの流れとしては、まず前半に、データマイニング実践例と統計ソフトの使い方について学び、後半は、各自のテーマに沿ってデータの収集・分析を行ってもらいパワーポイント等で発表してもらう。

生物有機化学演習（多中 良栄）

生物は複雑な有機物の集合体として成り立っている。本セミナーでは、生体内で起こっている反応をより良く理解するため、生体関連分子の反応について有機化学的観点から理解し、その合理性について学ぶことを目的とする。セミナーは演習形式で行い、問題の作成や解説なども行ってもらおう。